

企画展
紹介

愛と苦情の広告史 ～あなたも広告にひとことを～

2025年4月29日(火)～6月14日(土)

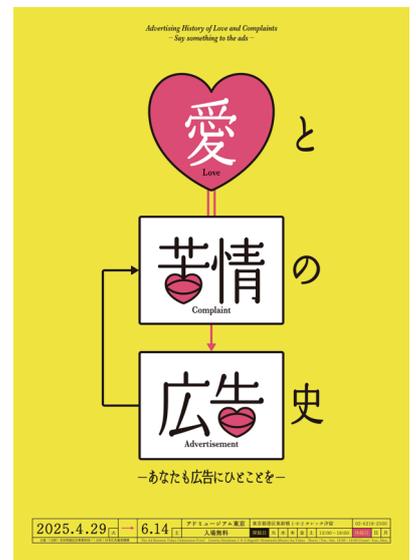
昨年、創立50周年を迎えたJARO（日本広告審査機構）の節目にまとめられた「苦情の50年史」。これを中心に、広告が単なる企業から生活者への一方通行のメッセージではなく、生活者からの「声」=フィードバックによって進化してきたことに着目し、江戸時代から現代、そして未来へと至る広告と生活者のコミュニケーションの歴史を紹介する企画展「愛と苦情の広告史～あなたも広告にひとことを～」を開催しました。

展示は5つのゾーンで構成され、江戸時代や明治時代の広告から最新事例まで、豊富な広告資料とともに紹介しまし

た。特にJAROが50年間にわたり受け付けてきた約26万件の苦情や意見をまとめた「苦情の50年史」ゾーンは、広告が社会とどのように向き合ってきたかを示す貴重な記録として、多くの来館者の関心を集めました。

～公益社団法人 日本広告審査機構 (JARO) について～

JAROは、消費者に迷惑や被害を及ぼすウソや大げさ、誤解をまねく広告をなくし消費者から信頼される良い広告を育てたいという思いから、広告主や新聞社、出版社、放送会社、広告会社や広告制作会社などの広告に関係する企業が自ら集い、1974年に設立された広告・表示に関する民間の自主規制機関です。



生活者の声をバルーンで表現した演出が会場全体に広がっている



「あなたも広告にひとことを」。来館者が広告への思いを自由に書き込むことができ、多様な声も寄せられた



ゾーン3「苦情の50年史」。JAROの活動と50年間に寄せられた苦情や意見を年表とともに紹介

次回
企画展

オリジナル企画展
「わたしたちはわかりあえないからこそ展」

2025年6月25日(水)～8月30日(土) 予定